

STUDENT LIFE

週刊NY生活・アメリカの学校紹介と学生ライフのページ



■学校行事の様子を文章と写真で編集部にお寄せください。掲載致します。

授業料無料化を推進

バイデン副大統領夫人が来校 NY市大ラガーディア校



オバマ大統領による公立2年制大学などにおける授業料無料化の提案「ヘッズ・アップ・アメリカ」を受け、米副大統領夫人のジル・バイデンさんがニューヨーク市立ラガーディア校を訪問した。コミュニティカレッジと呼ばれる米公立2年制大学は地域住民の高等教育や生涯教育を目的に設立され、通学する生徒の年齢が幅広い反面、生徒の中には授業料と生活費を賄うために学業の合間に複数の仕事を掛け持っているケースも少なくない。

「ヘッズ・アップ・アメリカ」が実現すると、年間で1人当たり最大3380ドル(約45万円)の授業料が免除される見込み。バイデン夫人訪問当日は、ニューヨーク市立ラガーディア校の15の学生クラブなどが活動内容を紹介。スピーチに続き、夫人は各クラブのテーブルを回り学生たちと談笑した。同校ジャパンクラブのテーブルでは、日本の書道を披露。夫人の名前を日本語で書いてプレゼントした。(文・宮下裕子、写真・馬淵敦子)

初等部で登山

ベアマウンテンへ

NJ日本人学校

ニュージャージー日本人学校(岡村富広校長)は11月4日、初等部の児童がニューヨーク州にあるベアマウンテンに登山に出かけた。雲一つない突き抜けるような青空が広がる絶好の天気に恵まれたこの日、子供たちは元気に山頂を目指した。湖面に移る景色を見たり、黄色や赤に紅葉した葉っぱを拾ったり、森の中のリスを見つめたりとさまざまな形で自然と触れ合いながら登頂した。



登山をするには少し暑過ぎたようで、子供たちは額に汗をにじませながら、一歩一歩歩みを進めた。3つに分けられたグループは委員会ごとの班で、縦割りのメンバー構成だったため、低学年の児童に対し高学年が「大丈夫」と声をかけた姿が見られ、全員で協力して難所を乗り越えていく姿が見られた。無事に山頂に着いた子供たちは、「ヤッホー」と叫び、おいしい、おいしいお弁当を最高の眺めと一緒に満面の笑みでいただいた。登頂・下山とすべての行程を元気に安全にやり遂げることができ、素晴らしい1日となった。子供たちの心アルバムの中のページに、この日の天気のようにさわやかな思い出として残ってくれたらと教職員一同願っている。

全校あげて遠足

育英サタデー・マンハッタン校

育英サタデースクールマンハッタン校(園児児童生徒数149人、牧野佳代子ディレクター)は10月24日、幼児部、小学部低学年、小学部高学年、中学部と4か所に分けての遠足を行った。幼児部は、ブルックリン子供博物館へ。小学部低学年は、コニア일랜드にあるニューヨーク水族館へ。小学部高学年は、ニューヨーク州のリバティサイエンスセンターへ。マンハッタン校の施設内にはかわいらしい芸術品やアシカシヨウやラッコ、サメなど、子供たちが大好きなものばかり。「サメって3万本も歯があるんだね」「エイがこっちに寄って来るよ。笑ってるみたいだね」とはしゃぎつづつ、海洋生物に真剣に見入っていた。小学部高学年は、ニューヨーク州のリバティサイエンスセンターへ。ハリーケー

www.sushiden.com
本店(マディソン店) 2号店(6番街店)
Tel: 212-758-2700 Tel: 212-398-2800

ターへ、中学部は、ミッドタウンにあるMOMAで現地集合、学年ごとに小グループになり美術鑑賞した。

子供の成績や行事保護者がアプリで確認

ニューヨーク市内の公立校の保護者12万7000人以上が子供たちの学校の成績や統一試験の結果、出席率、授業日程などをチェックできるウェブサービスを利用して、このことが分かった。ウェブサイトで「NYCスクールズアカウント」は今年6月、経費200万ドルをかけて新設された。ファミリーニヤ市教育局長は、「保護者の学校への関わりを深めてもらう市の教育対策の一環」と説明している。

We produce the world's top elites through an English shower.

PR 英語のシャワーで世界のトップエリートを育てる

小中高12年一貫エリート教育で「心」「知性」「国際性」を育て、グローバルな社会でリーダーシップを発揮できる人材を育てます。

埼玉県狭山市にある文理佐藤学園・西武学園文理小学校では、学園の教育方針である「すべてに誠をつくし最後までやり抜く強い意志を養う」「誠実、信頼、奉仕」という理念のもと、国際社会でリーダーシップを発揮できるよう、小中高12年一貫教育の中で英語力と国際感覚を身につけた児童・生徒を養成する。

小学1年生から音楽、図工、体育の授業を英語で学び、英語を系統的に教育し、英語のシャワーの中で語学力の充実を図る。読書、書き、計算などの基礎・基本をしっかりと定着させながら応用力を養い、また、インターネットやコンピュータを知識獲得の道具として活用しながら「自分で学び、考え、表現する」能力の開発に努めている。さらに、社会の第一

海外への研修

年間行事の一環として、5年次には約2週間イギリスへ、6年次には約1週間の日程でアメリカへの研修を実施している。世界の同年代の子どもたちと生活を共にし、英語の授業を受けながら異文化に触れ、国際感覚を身につけることがこの研修の目的だ。世界の子どもたちとのコミュニケーションの気持ちや表現できないことへの悔しさや、気持ちが通じ合った時の大きな喜びを感じ、研修に参加した児童は皆、著しく成長し自信を持つようになる。

編入試験実施

同校では不定期に転入生を募集しており、帰国子女も対象となっている。希望者が機会を逃すことのないよう、登録制度を設けている。登録後、募集が決まった際に連絡が入り、試験を経て合格の場合に転入編入が許可される。なお、来年度の編入試験は平成28年2月21日(日)に実施される予定である。詳しくはウェブサイトでhttp://www.seibubunri-es.ed.jp/。質問・相談はEメールで inquiry@seibubunri.jp まで。



イギリス短期留学



BUNRI'S

充実した英語教育の実践/小中高12年一貫教育/編入募集登録

西武学園文理小学校

埼玉県狭山市下奥富600 Tel: 04-2900-1800 Fax: 04-2968-0030
学校の詳細・編入募集登録は <http://www.seibubunri-es.ed.jp/>

レディー&ジェントルマン中高一貫エリート教育 西武学園 文理中学・高等学校

埼玉県狭山市柏原新田311-1 <http://www.seibu.bunri-c.ac.jp/>



アメリカ研修-ハーバード大学にて

新聞と同じレイアウトで読めるデジタル版

www.nyseikatsu.com

世界のニュースについてもNYの今がわかる日本語フリーペーパー

©All copyrights reserved to New York Seikatsu Press, Inc.



吉川元偉国連大使(写真上、右下)公邸で各国の大使を招いて開催されたショー(4日夜)

Beyond KIMONO きものを超えて

国連大使公邸とチェルシーで華やかに



ピアニスト西川悟平さんのエスコートで挨拶をする小林さん(左、7日/写真・本紙 三浦良一)

Global Logistics Provider
NIPPON EXPRESS

NEX 米国内発着小口荷物サービス
Domestic

リースケジュール
価格設定

関係者全員がEメールで
現在の荷物の状態を
確認できて安心

日本通運のDoor to Doorサービスラインナップ

NEX International
NEX JetPak
NEX Sky-EX Saver

1-888-592-2562
日本語可コールセンターもあります!
Web: www.nipponexpressusa.com

美 JAPON を動画ニュースで
週刊NY生活 29面

美・JAPONの小林栄子さん
NYでファッションショー

アンティーク着物を「和ドレス」として蘇らせ日本の美を世界に発信するNPO法人「美・JAPON」(本部・東京都 小林栄子代表)が4日、吉川元偉国連大使主催による公邸でのショーとレセプションで美しい和ドレスを披露した。7日にはチェルシーで「ビューティ・キモノ・2015」と題した一般公開のショーも開催し、ニューヨークから喝采を受けた。(関連記事19面に)

Printed in U.S.A.

clavis

SYSCOM USAのクラウドサービス“clavis”
さまざまなサービスを最適なカタチで提供
(212)607-4800 www.syscomusa.com

2015年 冬のギフト特集 (13面〜17面)

「すし手袋に反対」

寿司店オーナーが抗議の投稿

デイリーニュース紙

ニューヨーク市衛生局が「すし手袋着用。素手で調理をレストランの衛生基準の一として定める調理時の高額の罰金が課せられ、度々すし店に対して衛生局はと

し店や日本料理店にとって深刻な問題となっている。そんななかで9日、スシ・ヤスタの共同創業者のスコット・ローゼンバーグさんがNYデイリーニュース電子版の Opiniオン欄に意見を寄せた。題して「手袋なんかするな! スシのために開く貴重な文化的遺産を壊す危険性をはらむ市の規制」。ローゼンバ

グさんは、すし好きが高じてすし店まで始めてしまった正真正銘のすし通。「衛生局が意図するのは、衛生観念のない料理人から客を守るといった意味からは理にかなっていません。しかし、ことすしに関しては不潔かつ危険で、まったく理にかなっていない。すしは世界有数の食文化。素手でにぎってこそすしであり、素手でにぎるにはちゃんとした理由がある」とローゼンバーグさんは主張する。(主張の詳細4面に)